

〔様式1〕 平成19年度 事務事業評価表						
記入年月日		記入者	照井康之	連絡先	5166	
平成18年度部名	教育総務部	課名	学務課	課長名	入江建夫	
平成19年度部名	教育環境部	課名	学務課	課長名	須藤由徳	
事務事業名	小・中学校運営費					
予算上の事務事業名	学校再配当等分					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	14121		
基本目標	I「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政策名	第4章 人間性豊かな子どもを育成します					
基本施策名	第1節 ゆとりある学校教育の創造					
施策名	第2施策 小・中学校教育の充実					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等						
相模原市規則類						
3 個別計画の概要			概要			
計画名						
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分	維持・管理・補修			5 事業開始年度		
6 事業概要						
(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象 (誰、何)		
小・中学校を運営していくために必要な経費のうち、需用費について学校に再配当するもの。				相模原市立小・中学校		
(1) 需用費：消耗品費、食糧費、印刷製本費、物品等修繕料						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
8 事業費の推移 <span style="float: right;">〔単位：千円〕</span>						
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	474,217	475,410	525,499	562,121	562,121	
一般財源	474,217	475,410	525,499	562,121	562,121	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	11,080	11,055	12,437	13,818	13,818	
事業コスト合計	485,297	486,465	537,936	575,939	575,939	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	小・中学校運営費			対象名称 と単位	相模原市立小・中学校 数	
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	485,297	486,465	537,936	575,939	575,939	
対 象 数	82	82	99	111	109	
単位あたり経費(円)	5,918,256	5,932,500	5,433,697	5,188,640	5,283,844	
前 年 度 比		1.00	0.92	0.95	1.02	
10 活動指標・・・実施した内容(活動)を数値化したもの						

指標名と単位	小・中学校	指標式と指標の説明	相模原市立小・中学校数		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	82.0	82.0	99.0		
目標	82.0	82.0	99.0	111.0	109.0
目標達成度(%)	100.0	100.0	100.0		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	小・中学校	指標式と指標の説明	相模原市立小・中学校数		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	82.0	82.0	99.0		
目標	82.0	82.0	99.0	111.0	109.0
目標達成度(%)	100.0	100.0	100.0		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A:効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [有・無]					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価(一次評価)					
(1) 自動判定結果					
★★★★	[★★★★]:良好な状態を維持する事業				
	[★★★]:概ね良好な状況である事業				
	[★★]:見直しを行う必要がある事業				
	[★]:抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価(今後の方向性)			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		学校運営のための経費であり、最低でも現状を維持する必要がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
予算執行の効率化を図るため及び学校長の裁量権の拡大のため、各節ごとの内訳は学校の要求額とする予算のフレキシブル化を実施している。			効率的且つ計画的な執行を進めるためには、学校長及び事務職員に対して更なる指導、助言が必要と思われる。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価(今後の方向性)			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			